

【写真1】研修指導者養成研修 (Training of Trainers : ToT)



日付：2012年6月27日

場所：シェンクワン県 県病院

説明：包帯の巻き方を練習するプークー郡病院職員（右2人）と、指導する駐在員。郡病院職員は、研修後自分が講師として指導を行わなければならないこともあり、真剣に取り組んでいた。

【写真2】村落保健ボランティア能力強化研修 ①



日付：2012年9月24日

場所：シェンクワン県 カム郡 ボウンティン村

説明：研修で村落保健ボランティアに供与する救急キットの内容を説明する郡病院職員。はじめはぎこちない説明だったが、徐々に慣れ、説明の仕方も工夫するようになった。

【写真 3】 村落保健ボランティア能力強化研修 ②



日付：2013年2月13日

場所：シェンクワン県 プークー郡 郡病院

説明：村落保健ボランティア研修で参加者に応急処置の際の手の位置を指導する駐在員（中央左）

【写真 4】 村落保健ボランティア能力強化研修 ③

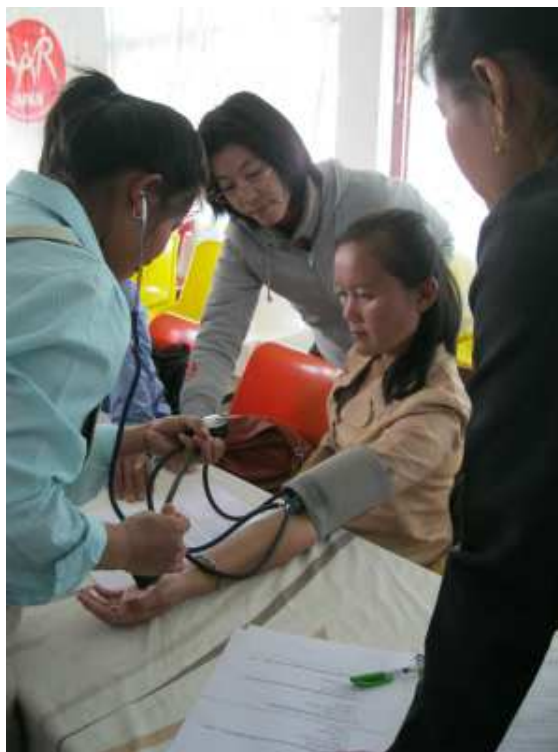


日付：2012年11月21日

場所：シェンクワン県 カム郡 郡病院

説明：研修終了時には一人ひとり修了証と共に救急キット、研修の内容をまとめた冊子、村人への啓発用フリップチャートとポスターを配付した。

【写真 5】ヘルスセンター看護師能力強化研修



日付：2013年1月24日

場所：シェンクワン県 県病院

説明：血圧測定の手技を確認する駐在員（奥）

【写真 6】村人向けの講習会 ①



日付：2012年12月27日

場所：シェンクワン県 カム郡 ノングボン村

説明：村人向けの講習会で止血方法を説明する郡病院職員（右2人）

【写真7】 村人向けの講習会 ②



日付：2012年11月29日

場所：シェンクワン県 プークット郡 ミエン村

説明：村で事故が起こった際に、村落保健ボランティアを中心として村人がどのような役割を担うべきか、事故を想定した実践練習を通して学んだ（右から2人目が村落保健ボランティア）。

【写真8】 村人向けの講習会 ③



日付：2012年12月26日

場所：シェンクワン県 カム郡 ナトン村

説明：村人向け講習会のあとは、村落保健ボランティアの研修後の村での活動の様子や救急キットの補充状況を聞き取り調査し、課題がある場合には継続して村での活動を行えるようアドバイスした。

【写真 9】ヘルスセンターへの医療器材供与



日付：2012年10月19日

場所：シェンクワン県 カム郡 ニョッドリエン村

説明：医療器材を供与する際、ヘルスセンター看護師に郡病院職員が医療器材の使用方法を説明した（右から2人目が郡病院職員）。

【写真 10】ヘルスセンター看護師の活動の様子



日付：2012年8月24日

場所：シェンクワン県 パーサイ郡 ナパンヘルスセンター

説明：ヘルスセンター看護師が研修で学んだ包帯法を使って、子どものケガの処置を行っている。

【写真 11】 UX0-Lao の不発弾事故回避教育



日付：2012年11月27日

場所：シェンクワン県 ペック郡 モン村

説明：当会と UX0-Lao シェンクワン支部で制作した、焚き火をする際の注意を題材にした人形劇を見る村人。供与した人形、ノートパソコンやスピーカーを活用して回避教育を行なった。

【写真 12】 UX0-Lao へのポスター供与



日付：2013年1月25日

場所：シェンクワン県 UX0-Lao シェンクワン支部

説明：当会と UX0-Lao シェンクワン支部とでデザインし、作製した不発弾事故回避用ポスターを供与する駐在員（右）

【写真 13】 未だに存在する不発弾



日付：2012年12月26日

場所：シェンクワン県 カム郡 ナトン村

説明：村人向けの講習会で訪問した村人から畑に不発弾があることを知らされた。

不発弾が身近に存在している状況を目の当たりにすると同時に、不発弾処理作業もまだ必要である現状を確認した。

【写真 14】 不発弾被害者へのインタビュー



日付：2013年2月19日

場所：シェンクワン県 カム郡 ソップオー村

説明：2012年3月27日に畑仕事中に不発弾事故に遭い、両目・両腕・胸部を負傷した男性（32歳）。妻と2人の子どもがいるが、下の子どもは恐がって近付かないという。